

# 2026年度事業計画書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

## 1. 共通事項

### (1) 第6期経営計画の推進

機構設立から26年が経過し、神戸医療産業都市は約340の企業・団体・研究機関の集積、高度専門病院群の整備などにより大きく進展してきたが、「神戸医療産業都市の将来像」(2024年7月)で示されたように、取り巻く研究・開発環境は大きく変化してきている。

こうした環境変化を踏まえ、機構では2025年度に新たに「第6期経営計画」を策定し、神戸医療産業都市の中核的支援機関の役割並びに産官学医の連携・融合の強化、組織運営の最適化に重点的に取り組むこととしている。

2026年度においては、経営改善の取り組みを引き続き進めるとともに、「神戸医療産業都市におけるイノベーション創出に向けた連携協定」を背景にしつつ、関係機関とともにKBIC Forumを実施する等、Communityの形成を進め、神戸医療産業都市全体の活性化に取り組む。

神戸医療産業都市を将来にわたって持続的に発展・成長させることができるよう、中核的支援機関として期待される役割を果たし、神戸経済の活性化と市民福祉の向上の両面から市民還元につながる成果が得られるよう、施策・事業を展開していく。

## 2. 公1会計(先端医療研究センター等)

### (1) 先端医療研究センターにおける研究推進及び研究支援

先端医療技術の研究および外部研究機関、企業等との協働を通じた研究支援を行うことにより、創薬や治療法の開発を加速させることで、自己免疫疾患、脳疾患、感染症など多くの国民や市民が課題に直面している疾患の克服を目指す。

#### ① 免疫医療研究の推進

PD-1アゴニスト抗体のヒト免疫系への影響の解明を進める。また、加齢に伴う免疫活性の減退についてメカニズムを考察するとともに、免疫活性改善に向けた標的分子を抽出する。

#### ② 神経変性疾患研究の推進

アルツハイマー病神経細胞死の原因であるASPD(アミロスフェロイド)とその毒性標的ナトリウムポンプに対する、3つの異なる治療法(中分子薬・AAV-Sweep遺伝子治療薬・ナトリウムポンプ運動正常化遺伝子治療薬)を開発し、非臨床試験に向けた取り組みを進める。

#### ③ 再生医療研究の推進

幹細胞の神経機能再生メカニズムを応用し、(ア)幹細胞による脳梗塞治療法の開発、(イ)幹細胞治療を代替する低分子・リポソームによる脳梗塞治療法の開発、(ウ)幹細胞の再生メカニズムを発展させた認知症の治療・診断法開発、について企業との共同研究を進め、脳梗塞・認知症患者の機能再生促進による要介護・寝たきり者の減少を目指す。

#### ④ 感染症制御研究の推進

ウイルス性肝炎、慢性肝炎、またそれを背景として起こる重症肝疾患(肝硬変や肝細胞がん)の病態形成メカニズムの解明を目指した研究を展開し、得られた知見をもとに新規診断方法や治療方法の提案に資する研究を行う。

### (2) 動物実験飼育施設の運営

法規および各種ガイドラインを遵守した適切な動物施設管理を行う。施設の特徴をPRするとともに利便性向上に向けた取り組みを進め、利用率の向上を図る。

### (3) 研究施設の維持管理

#### ① 神戸臨床研究情報センター (TRI) の管理運営

施設の老朽化が進む中、橋渡し研究が円滑に進むよう、施設の修繕を適切に行うとともに、効率的な管理運営に努め、ラボの入居率向上を図る。

#### ② 神戸ハイブリッドビジネスセンター (KHBC) 等の管理運営

KHBC の適切かつ効率的な管理運営並びに入居率の維持に努め、シェアオフィスの利用促進を図るとともに、設備の更新を適切に実行し、安定的な施設運営を行う。

また、神戸医療イノベーションセンター (KCMI) の細胞製造加工施設にかかる資産の賃貸借を行う。

## 3. 公2会計 (クラスター推進センター)

### (1) イノベーションが生まれる仕組みづくり

これまでに築いてきたネットワークや収集してきたシーズ・ニーズ情報を活かして、イノベーションの創出を更に推進するための仕組みづくりに取り組み、神戸において、革新的な技術が次々に生まれるエコシステムの形成を進める。

### (2) グローバル展開も見据えた地元企業等に対する事業化支援

医療機器、創薬・バイオ、ヘルスケア、スタートアップの各分野において、シーズ探索から販路開拓まで一貫した事業化支援を継続して行う。また、地元企業のグローバル展開を支援するとともに、海外企業の神戸進出を支援する。これらの取り組みを通じて、代表的な革新的製品の創出や国内外で活躍するスタートアップの育成を目指す。

### (3) 魅力的なクラスターの形成

交流・ネットワーキングの場の提供や相談窓口の利便性向上などにより、神戸医療産業都市を構成する様々な組織や団体間の連携・交流を促進する。

さらに、国内外のクラスター等との連携・交流を促進し、神戸の更なるプレゼンス向上を目指す。

## 4. 公4会計 (医療イノベーション推進センター)

### (1) 公益性の高い事業の推進

中央市民病院、理化学研究所計算科学研究センター、京都大学等と共同で実施する AI 創薬連携事業、中央市民病院と共同で実施する神戸市ヘルスケアデータ連携システムを活用した研究、神戸大学と連携して推進する橋渡し研究事業等を行う。

また、2023 年より日本医師会から引き継いだ「新治験計画届作成システム」の安定的な維持・管理を行う。

### (2) 早期段階シーズの育成

神戸医療産業都市進出企業、先端医療研究センター等が開発を進める早期段階シーズへの支援を行い、神戸医療産業都市の発展に貢献する。

また、医学分野のみならず、異分野発の先端科学技術も医療開発へ展開するため、橋渡し研究支援を行うとともに、機構発シーズの実用化に向けた取り組みを進める。

### (3) 治験・臨床研究の推進・管理

神戸医療産業都市進出企業、先端医療研究センター、中央市民病院、神戸大学等が主導する治験・臨床研究の準備や実施の支援に注力する。

また、治験国内管理人業務及び総括報告書作成業務の実績をさらに蓄積し、臨床試験支援事業を強化するとともに、特定臨床研究や大規模コホート研究の支援を幅広く受け入れるため、外部 CRO との連携を強化する。

## 5. 公5会計（再生医療製品開発室）

### （1）角膜再生製品の受託製造及び製造・品質管理方法の変更等に関する業務

製造販売承認後再生医療等製品（角膜再生製品）の製造・品質管理方法及びGCTP体制に関する変更・改良の業務（製品使用期限延長のための製造品質データ取得と新規製造所整備等）を実施する。

### （2）軟骨再生製品の製造実施及び実施支援と製造販売承認申請支援

再生医療等製品（軟骨再生製品）の変形性膝関節症に対する検証的治験製品製造を実施する。

## 6. 収1会計（医薬品等製造受託業務）

### （1）治験用放射性薬剤製造受託

中央市民病院と共同で治験に用いる放射性診断薬等を製造受託する事業を行うことにより収益を確保するとともに、神戸医療産業都市の中核的医療機関である同病院における臨床試験の推進を支援する。

### （2）角膜再生製品の受託製造

製造所のGCTP管理体制を維持・強化し、製造販売承認後再生医療等製品（角膜再生製品）の受託製造を実施する。

## 7. 収2会計（賃貸）

### （1）国際医療開発センター（IMDA）等の管理運営

IMDAにおける入居率の向上、収入の確保並びに施設の適切かつ効率的な管理運営を行う。また、神戸アイセンターの細胞製造加工施設にかかる資産の賃貸借を行う。